



令和4年度学校だより

10月3日

五福校 ごふくこう

No57

文責 本田

前期の通知表を渡しています。

頑張ったところを認め褒め、次への意欲を持たせることが大切です。

本日、1年生から5年生はお子様へ前期の通知表をお渡ししています。6年生は修学旅行に伴うオンライン授業のため先週金曜日にお渡し済みです。通知表の見方については通知表に別途プリントを挟んでいますのでご覧ください。熊本市の小学校では通知表は年に2回となっています。今回の通知表は1学期と9月までの分を評価したものです。次回は学年末になります。僕も子どもたち一人一人の通知表の内容を確認しました。評価は人と比べた相対評価ではなく、子どもたちがその教科の学習内容をどこまで習得できているかを表すようにしています。子どもたちの頑張りを認め褒め励ましていただけたらと思います。褒めながら努力すべき点を理解させ、後期への意欲をもたせていただけたらと思います。



先生たちもお互いに授業を見て学び合っています。

子どもたち一人一人がわかるように授業を工夫していきます。

五福小学校は昨年度から STEAM 教育研究モデル校になっています。「対話を通して協働的に学び合う子どもの育成」を研究テーマとして、日頃の授業から子どもたち自身が課題をもって主体的に学ぶ授業を目指しています。今日は熊本大学の前田先生と熊本市教育センターの山下指導主事に来てもらって算数と家庭科の授業研究会を行いました。STEAM教育って難しい言葉ですが、国語や社会などの単独の教科だけでなく、総合的な学習の時間等を軸として、いろいろな教科を関連させながら課題に向かって探究的に学んでいく教育のことです。まずは各教科の授業でしっかり子どもたちが探求できるような課題や協働的に学び合っていく方法を研究しています。

5年生はとても頑張っていました。自分で考える力、友達の意見を聞いて発表する力が身についています。

今日の算数のめあては「平行四辺形の面積の求め方をいろいろ考え、友達に説明しよう」です。



家庭科のめあては「買い物に必要な情報を収集整理して、商品を選び買い物をしよう」です。



賢い消費者として、自分の考えでものを選んで行けるように考えています。



ただ公式を覚えるのではなく、自分で面積の求め方をいろいろ考えて、友達に説明することで知識を概念化していきます。